

## 序

この報告集は 1986年9月10日から14日までの5日間、東洋大学箱根保養所において開催された「低次元 PL トポロジー箱根セミナー」での成果の記録である。

今回のセミナーは

昭和61年度科学研究費補助金・総合研究 (A)

研究代表者 川久保 勝夫 氏

「トポロジーの総合的研究」 ( 課題番号 61302004 )

のプロジェクトの一つとして

主題: Graph による 3-manifold の研究

により企画・実行されたものである。

Link Theory における Jones Polynomial での Graph の利用や、多様体論での Crystallisation などに代表されるように、近来 低次元 PL トポロジーにおいては Graph を利用した研究がさかんになってきている。研究の進展とともに 低次元 PL トポロジーの複雑さ・困難さが表面化してきたことと関係があるのであろう。低次元 PL トポロジーの今日あるを早くから予測し、Graph 地方の方言の伝播に努めてこられた津久井康之氏や鈴木晋一氏等の炯眼に改めて敬服する。

今回の研究会においては 全ての出席者が講演され、興味深い話題を提供された。そして それらに対する徹底的な討論が展開された。尚、今回は Graph Theory のスペシャリスト 根上生也氏にも出席をお願いして 多方面にわたる有益なアドバイスをいただいた。それぞれの話題について重要な結果が数多く得られたので、今後の研究の資料とすべく 報告集としてまとめる運びになった。

相模工業大学の津久井康之氏には 研究会の準備・運営から報告集の編集・出版にいたるまですべて一手にひきうけていただきました。紙面を借りて 厚くお礼申し上げます。

山下正勝